

近藤教授が平成 29 年度日本農学賞，第 54 回読売農学賞を受賞

農学会は大正 14 年から事業の一つとして『農学賞』（農学賞牌）の授与を行ってきました。昭和 4 年、『日本農学会』（現在 49 の学協会から成る）が設立され、その際に全てが移譲され、昭和 17 年には『日本農学賞』と名前を変え、日本の農学研究者間における最高の栄誉として今日まで続いています。

読売農学賞は、昭和 39 年より読売新聞社から授与されていますが、授賞業績の推薦、選考は当時より日本農学会に委任されており、毎年 1 月の評議員会で日本農学賞の授与を決定し、読売農学賞へ推薦する形式をとっています。

このたび、下記のページのように近藤教授の日本農学賞および読売農学賞の受賞が決定しました。業績論文は「センシングシステムに基づく生物生産用知能ロボットの研究」で、過去 30 年間の業績が総合的に評価されたものです。

http://www.ajass.jp/30_10.html

授賞式は平成 29 年 4 月 5 日に東京大学山上会館で、受賞者の発表およびパネルディスカッションによるシンポジウムと共に行われます。